

英語科学習指導案

指導者 茨城県立古河第一高等学校 教諭 田口 純貴

1 単元名 Lesson 8 Wangari Maathai:80,000 from 1 (1) (BIG DIPPER English Course II 数研出版)

2 単元の目標

- ペアワークでパートナーと積極的に活動に取り組む。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 本文を読んで、その内容について要約を書く。 (外国語表現の能力)
- 本文を読んで、その概要を読み取る。 (外国語理解の能力)
- 本文で扱った単語や文法事項(分詞構文, no longer など)の使い方を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、1970年代のアフリカの状況やワンガリ・マータイ氏のパートナーが始めたグリーンベルト運動について紹介する内容である。それがどのような結果をもたらしたのかについて理解するとともに、環境問題などについて考える。

(2) 生徒の実態

本学級は、英語に関するアンケートによると、英語学習に対するモチベーションを持っていない生徒が多く、また、*割ほどの生徒が英語を苦手だと答えている。しかし、「英語は好きですか」の問いに、半数以上の生徒が好き、または、普通だと答えており、普段の授業でも英語学習にきちんと取り組んでいる。ライティングについては、苦手であると答えた生徒がもっとも多く、ライティング力の調査では、自分の言葉で要約をすることができない生徒が多いことがわかった。

(3) 指導観

ア 学習形態の工夫について

「コミュニケーション能力」を養うには、生徒が実際に授業中に英語を使ってコミュニケーションを行い、情報を受けたり伝えたりすることが大切である。音読は原則的に個人の活動であるが、内容を理解して、聞き手に伝わるように読むことで、内容理解の深まりだけでなく文構造等の理解も図れると考える。さらに、2人一組のペアワークにして活動の種類に多様性を持たせ、聞き手とともに音読活動などを行う学習形態を工夫する。

イ ワークシートの工夫について

音読を繰り返して、英語の力を上げるためには「多様な方法で大量に行うことが必要」であり、ペアワークで何度も英文に触れさせるために、ワークシートを工夫する。日本語と英語を並べたワークシートを使って内容を確認し、チャンクごとに読めるようにしていく。チャンクごとに読めるようになったら、キーワードや文法事項の一部など、本文の数か所の単語を括弧にして抜いて、音読をする。また、それを利用して穴埋めの小テストで確認をする。徐々に抜く個数を増やし負荷を上げていくことで、英文の音読から、ライティングにつなげる。最終的には、本文のキーワードを書き、それを利用して要約を書く活動を行い、書く力の育成を図る。

4 指導と評価の計画 (4 時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	導入、語彙と文法事項 本文の内容の理解			○	○	・新出単語の意味・発音を理解する。 (ワークシート・観察) ・本文の内容を理解することができる。 (後日テスト)
2	本文の内容の理解 ワークブックを使って、問題演習			○	○	・本文の内容を理解することができる。 (後日テスト) ・本文で扱った語彙や文法事項を用いて問題を解くことができる。(ワークブック)
3	内容理解と読みの確認 ペアワークによる音読 確認小テスト	○	○			・内容が伝わるように英文を読むことができる。 (後日パフォーマンステスト) ・ペアワークでパートナーと積極的に音読活動を行っている。 (観察)

4 (本時)	確認小テスト ペアワークによる音読 本文内容の要約	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークでパートナーと積極的に音読活動を行っている。(観察) ・本文内容の要約を書くことができる。(ワークシート)
-----------	---------------------------------	---	---	--	--	--

5 本時の指導

(1) 目標

○ペアワークでパートナーと積極的に音読活動を行っている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○本文内容について、自分の言葉で要約を書くことができる。

(外国語表現の能力)

(2) 準備するもの

- ・ワークシート

(3) 展開

	指導過程	生徒の学習活動および内容	時間	指導上のねらい・留意点 (評価の観点：評価方法)
導 入	Greeting Small talk	・本時の目標を確認する。	2分 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭で本時の学習内容を説明し、目標を持ち取り組む雰囲気を作る。 ・ゆっくり読んで生徒に確認させる。発音やスペルの間違いやすい語は、再度指摘し、内容や文構造を理解させる。
	確認小テスト 答え合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で音読する。 ・空所補充問題を解き、前時の音読活動の復習をする。 ・教師の音読を聞きながら、答え合わせをする。分からないスペルは確認する。 	3分	
展 開	音読	<p>【個々の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々に小テストで間違ったところを確認する。 <p>【ペア活動】</p> <p>①リレー音読を行う。チャンクごとにペアで交互に読む。読み手は出来るだけ速く読み、聞き手は、正しく読めているか、しっかりと確認しながら聞く。</p> <p>②通訳音読を行う。一方の生徒が日本語を読み、もう一方の生徒がそれに対する英語を読む。読み手は、意味を考えながら読み、聞き手は、正しく読めているか確認しながら聞く。</p> <p>③Read and Look up を行う。顔を上げて、相手を見て、内容が伝わるように話す。聞き手はわかりやすいかどうかを確認する。</p>	18分	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして発音のわからない生徒や間違っている生徒を支援する。 ・正確に読むだけでなく、出来るだけ速く相手につないで音読するように指示する。相手の音読をよく聞き、わかりやすいか、また、間違いがないかを確認することで、お互いに向上できる活動をするように促す。 ・意味を考え、文構造等を意識しながら読むように伝える。 ・会話の前段階になるので、相手をしっかり見るように伝える。 ・1文ごとが難しい生徒には、チャンクごとでもいいので、相手の顔を見て言うように伝え、支援する。 (ペアワークでパートナーと積極的に音読活動を行っているか：活動の観察)
	キーワードの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ノート、ワークシートを閉じて、音読した文章のキーワードを書き出す。 ・全体でキーワードの確認をする。 	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を振り返り、要約をする際に、自分が大切だと思ったものを、5個以上書き出すことと、スペルは間違えてもいいことを伝える。 ・生徒が発表したキーワードを黒板に書いていく。 ・スペルを確認する。

ま と め	<p>本文内容の要約</p> <p>Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 黒板に書かれているキーワードを参考にして、自分の言葉で書く。 1) キーワードを使うこと 2) 文章中の表現や文法事項を使って1文以上書くこと 3) 主語+動詞を評価する 	15分	<ul style="list-style-type: none"> • つまずいている生徒には個別に支援する。 (本文内容について、自分の言葉で要約を書くことができるか：ワークシート) • ワークシートが提出できない生徒に指示をする。また、評価テストの予告をする。
-------------	--------------------------------	--	-----	--

Lesson 8 Wangari Maathai: 80,000 from 1(1)

1. 日本語訳を参考にして、文を完成させてみよう。

①In the mid-1970s, the () () were very () in the countryside of Kenya.

1970年代中ごろ、ケニアの地方の生活状況はとてもひどいものだった。

②People did not have () food or ().

人々は十分な食料やまきを手にしていなかった。

③This was () many forests were () to produce cash crops.

これは、換金作物を生産するために、多くの森が破壊されたからである。

④Moreover, () of drinking water also () from deforestation.

さらに、飲み水を失ったのも、森林伐採の結果として起こったことである。

⑤() trees, rainwater washed away ().

木がないために、雨水は表土を洗い流した。

⑥Then rainwater could () () sink into the ground.

すると、雨水はもはや地中に浸透することができなくなったのである。

⑦ Many rivers and streams () up for () of groundwater.

地下水の不足のために、多くの川や小川が干上がった。

⑧People were () () they knew something was wrong.

人々は、何かの間違っているとわかってはいたが、無力だった[なすすべがなかった]。

⑨But Wangari Maathai knew how to stop this ().

しかし、ワンガリ・マータイ氏は、どのようにしてこの森林破壊を止めればよいか知っていた。 ⑩

"Trees help () the land and help break the cycle of () and hunger," Maathai says.

「木は土地が治るのを助け、貧困と飢えの循環を断ち切るのを助けます」とマータイ氏は言う。

⑪In 1977, she () the Green Belt Movement and began working with () women.

1977年、彼女はグリーンベルト運動を始め、農村の女性たちと共に働き始めた。

⑫They grew young trees and () () () forests had been cut down.

彼女たちは若木を育て、森林が伐採されたところにそれらを植えた。

⑬() () just seven trees, they have planted () () 30 million trees across

Kenya.

たった7本の木から始め、彼女たちはケニア中に3,000万本以上の木を植えてきた。

⑭About 80,000 people have () () () the Movement.

約8万人の人々がこの運動に参加してきた。

⑮The trees have brought () fruit, (), healthy (), clean water, and more.

それらの木は、果物や燃料、健全な土壌、きれいな水、そしてその他にも多くのものを人々にもたらしてきた。

2. 空欄の単語を考えながら、音読してみよう。

In the mid-1970s, the () conditions were very () in the

() of Kenya. People did () have () () or firewood.

This was () many () were () to () cash crops.

Moreover, () of drinking () also resulted from (). Without

trees, rainwater washed away (). Then rainwater could no () sink

into the ground. Many rivers and streams () up for () of

groundwater.

People were () though they knew () was wrong. But Wangari

Maathai knew () to stop this (). "Trees help () the land and

help () the cycle of () and ()," Maathai says. In 1977, she

() the Green Belt Movement and began () with () women.

They grew young trees and planted them () forests had been cut down.

Starting () just seven trees, they have planted more than 30 million trees

() Kenya. About 80,000 people have taken () in the Movement.

The trees have () people fruit, fuel, healthy soil, clean () and more.

3. 番号のついている文に1つだけ間違いがあります。音読しながら間違いを探してみよう。

①In the mid-1970s, the living conditions were not bad in the countryside of Kenya.

People did not have enough food or firewood.

③This was because many forests were destroying to produce cash crops.

④Moreover, lost of drinking water also resulted from deforestation.

⑤With trees, rainwater washed away topsoil.

⑥Then rainwater could not longer sink into the ground.

Many rivers and streams dried up for lack of groundwater.

⑧People were helped though they knew something was wrong.

But Wangari Maathai knew how to stop this deforestation.

⑩"Trees help heal a land and help break the cycle of poverty and hunger," Maathai says.

In 1977, she founded the Green Belt Movement and began working with rural women.

They grew young trees and planted them where forests had been cut down.

⑬Started with just seven trees, they have planted more than 30 million trees across Kenya.

About 80,000 people have taken part in the Movement.

⑮The trees have brought people fruit, fuel, healthy food, clean water, and more.

4. 以下の定義が表わす単語を本文から抜き出してください。

(1) () : wood used to make a fire : wood used as fuel

(2) () : a natural flow of water that is smaller than a river

(3) () : the cutting or burning down of all the trees in an area:

(4) () : like the countryside or reminding you of the countryside:

5. 次の質問に英語で答えよう。

(1) What have the trees brought people?

(2) Why did many rivers and streams dry up ?

(3) What di Maathai found in 1977 ?

6. このパートのキーワードはなんだと思いますか？

- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

7. そのキーワードを使って、本文の内容を英語で書いてみよう。
